

安足地域麦類技術情報 No. 1

令和 8 (2026) 年 10 月 20 日
安足農業振興事務所

今冬は暖冬傾向が予想されています。播種適期の範囲内で、播種時期を可能な限り遅らせましょう。

1 今後の気象

気象庁の 3 か月予報 (10 月 20 日発表) によると、11 月～1 月の平均気温は「高い」確率が 60%、降水量は「多い」確率が 50%と予想されています。

表 1 関東甲信地方 3 か月予報 (11 月～1 月)

気温、降水量の各階級の確率（％）					
気温	関東甲信地方	11月～01月	10	30	60
		11月	10	30	60
		12月	20	30	50
		01月	20	30	50
降水量	関東甲信地方	11月～01月	20	30	50
		11月	20	30	50
		12月	20	30	50
		01月	20	30	50

低い(少ない)

平年並

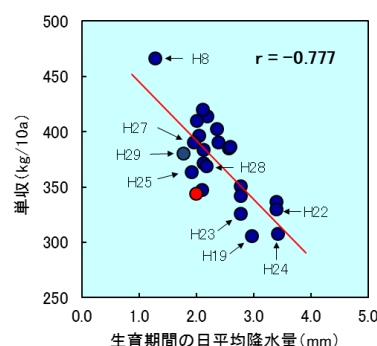
高い(多い)

2 今後の作業について

(1) 排水対策

近年、短期間にまとまった雨が降ることが増え、そのため麦類の収量に悪影響が出ています (右図参照)。

安定した収量を確保するために、排水対策を徹底しましょう。排水対策は、①額縁明きよの設置 (地表水の早期排水)、②スタブルカルチなどによる心土破碎 (浸透排水性の改善) を組み合わせると効果的です。



麦単収と降水量との関係
(平成6年産～30年産、ただし、平成26年産は穂発芽被害のため除く)

(2) 土づくり

収量と品質を向上させるためには、深耕や有機物の投入、土壌改良資材の施用が重要です。

1) 深耕

作土の深さは 20cm 以上になるよう耕うんしましょう。深

耕が難しい場合でも、ゆっくり耕うんして 20cm を確保しましょう。

2) 有機物の施用

堆肥や稲わらなどの有機物を施用しましょう。特に、良質な堆肥を施用することで、土壌の地力向上、通気性や保水性の改善、また地温上昇の効果も期待できます。

有機物の種類	施用量 (kg/10a)
牛ふん堆肥	1,000

※稲わらを鍬込みした場合は石灰窒素 10～20kg/10a を施用しましょう。

3) 土壌改良資材の施用

麦類は一般的に酸性に弱く、土壌が酸性化すると生育が極端に悪くなります。播種前に苦土炭カルなどのアルカリ資材を使用して、pH6.5 を目標に矯正を行いましょ。特に水稻作付後の土壌は pH5.0～5.5 になっている場合があるため、必ず施用するようにしましょ。

リン酸は根の発達や分げつの発生を促進します。土壌分析を行い、不足している場合は土壌改良資材で補完しましょ。

土壌改良資材名	施用量 (kg/10a)
苦土炭カル	60～100
OM-37	80～100

(3) 肥培管理

基肥窒素施肥量の目安を基準として、令和7年産のタンパク質含有率や生育状況、地力に応じて施肥量を加減しましょ。

表2 水稻後に作付けする場合の基肥窒素施肥量の目安 (kg/10a)

品種名	ニューサチホ ゴールデン	もち絹香	さとのそら
基肥窒素施肥量	6.5～8.0	10.0 以上	10～11

【タンパク質含有率が低い場合（ビール大麦ではオレンジカード、小麦ではタンパク質含有率 9.7%以下）】

→被覆窒素肥料を含む肥料を使用しましょ。被覆窒素肥料を含む肥料を使用している場合は、基肥窒素施肥量を 1～2 kg/10a 増やしましょ。

【タンパク質含有率が高い場合(レッドカード)や倒伏の発生が見られた場合】

→基肥窒素施肥量を1～2 kg/10a減らしましょう。

【砂質のほ場や大豆作付後のほ場で麦類を作付けする場合】

→砂質のほ場では、基肥窒素施肥量を1～2割増やしましょう。
大豆作付後のほ場では、3～5割程度減らしましょう。

(4) 播種

1) 播種時期、異常高温対策

県南部の播種適期：11月10日～25日

播種後(11～12月)の気温が高い予想のため、播種適期の範囲内で播種時期※を可能な限り遅らせましょう。

暖冬の場合、茎立期や出穂期が異常に早まることがあります。茎立期直前まで麦踏みを行い、過剰生育を抑制しましょう。

※最新の気象庁の季節予報(1か月、3か月、寒候期予報)も参考にして播種時期を決めましょう。

2) 播種量

耐倒伏性を高め、粒の充実をよくするためには、標準量で播種することが重要です。過剰な播種量は、経費の無駄になるだけでなく、過繁茂や軟弱徒長の原因となり、倒伏の危険が増し、減収や品質低下につながります。

表3 品種ごとの標準播種量(kg/10a)

品種名	ニューサチホゴールド	もち絹香	さとのそら
播種量	8.5	8.5	7～8

※播種が適期より5日遅れるごとに播種量を10%程度増やしましょう。

問い合わせ先

安足農業振興事務所 経営普及部 農畜産課

TEL: 0283-23-1431

URL: <https://www.pref.tochigi.lg.jp/g58/index.html>